

広聴特別委員会記録

令和4年12月12日

【開催日】 令和4年12月12日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後3時5分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	岡山明
委員	中島好人	委員	長谷川知司
委員	古豊和恵	委員	松尾数則
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【事務局出席者】

事務局長	河口修司	事務局次長	島津克則
------	------	-------	------

【審査内容】

- 1 議会報告会、議会報告動画について
- 2 モニター意見について
- 3 モニターとの意見交換会について
- 4 その他

午後1時 開会

矢田松夫委員長 ただいまから広聴特別委員会を開催いたします。本日の付議事項については、皆さん方のお手元にある内容に沿って進めていきたいと思っておりますので、議事進行をよろしく申し上げます。最初に12月議会報告会についてどうするのかの意見をまとめていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。委員の皆さん方の御意見を申し上げます。

古豊和恵委員 世の中にコロナも減ってはいないと思うんですけども、ウィズコロナですから、動きを閉塞的にするのではなくて、議会報告会も少しずつする方向で進めてもいいのかなと考えています。

矢田松夫委員長 実施の方向でどうなのかという御意見がありました。皆さん方の御意見を頂きたいと思います。

吉永美子委員 言われるとおり長年やっておりませんので、本当に行いたいことはやまやまなんですけれども、ただ、議会報告会は、不特定多数の方に来ていただく、何人というふうに定員を決めれば、それから漏れた方は、帰ってくださいよとは言えない。いろいろ考えると、形としてはスクール形式にする。やり方としては、前より後ろ向きになってしまう。せつかくカフェにして、自由に御意見を言っていただくというふうに進めたところですが、島を作るというのは難しいと思うところを考えると、今回、議会報告会をどうすれば開けるかと考えるとかなり限定されるという思いがあります。まずは動画をやるという方向で行くしかないのかなという苦渋の決断になると個人的には考えています。

長谷川知司委員 私も議会報告会を実施したらいいと思います。今までのように島を作るというのは好ましくないで、仮にということで、暫定でも教室型のような形になると思いますし、場所も各校区ではなくて、何箇所かに絞って、そこでやるというようにされたらどうかと思います。

吉永美子委員 長谷川委員にお聞きしたい。私も本来ならば開きたいと思うんですよ。不特定多数というところで、仮に20人までとして、21番目に来た人に「今日はお帰りください」と言えるものなのかとか、いろいろ考えると、大変つらいところがあって、本当にスクール形式じゃないと無理だし、どうなんだろうとすごく悩みどころです。開催したいのはやまやまです。

長谷川知司委員 吉永委員が質問されたことであれば、ある程度大きい会場を確保して、人数制限はされなくてもいいんじゃないかと思います。今まで多く来られても30人以上というのはめったにないと思います。それから議会でやっているように、1時間弱で換気のための休憩を入れてや

るということで、やる方向でどうしたらできるかということを考えてほうがいいのかと思います。

古豊和恵委員 現在いろんな会議が中止ではなく、行われています。長谷川委員が言われたように、きちんと換気、マスク、消毒に気を付けて行えばいいと思います。この会議室のような広さであれば、かなりの人数も入るんじゃないかなと思いますし、来られても30名ならば開けるのではないかと考えたんです。

中島好人委員 テレビで3年ぶりに祭りを開催したとか、イベントを3年ぶりに開催しましたというのをよく目にします。そういうのを見ると、長谷川委員や古豊委員が言ったような方向で検討するのがいいかと思います。僕は、まだ以前の議会カフェの経験がないので、なかなか分かりません。この間、ユーチューブで発信してきましたけど、そろそろ市民と対面していくとか、意見を聞いていくという方向もいいかなと思っています。

吉永美子委員 事務局に確認させていただきたい。9月議会報告会は、やむなく動画にしました。9月以降、市が行うものがどのように緩和されたかが分かれば教えていただきたい。

島津議会事務局次長 9月以降限定でしたら、特に制限とかは変わっておりません。

松尾数則委員 議会報告会も随分流れが変わってきましたよ。お茶を飲みながら、面接でできる。恐らくそういった流れは、しばらくは無理だと思います。言われたように広い場所でやるとか、やるとしても流れを変えてやらなくてはいけないかなという気がします。広い場所でやるのが可能なかどうか。

島津議会事務局次長 条件の中で、飲食は禁止になろうかと思しますので、今までのような議会カフェはできないと思います。それ以前のような形であれば可能かと思えます。

矢田松夫委員長 対面の学校方式であれば可能であるということです。

吉永美子委員 市のやり方の中で人数制限とかはどのようにやっておられますか。制限なしでしょうか。その辺を教えてください。

島津議会事務局次長 細かい条件がいろいろありまして、一言では言えませんが、大きい声を出すような会議であれば人数の制限等も厳しかったように記憶しております。

古豊和恵委員 今回も意見交換会となっていますので、黙って顔を見て終わるというもんじゃないと思うんです。（「議会報告会」と呼ぶ者あり）声を出さないといけない会議でも、きちっとマスクをして、先ほども言いましたような手順を踏んでやれば、問題はないのかなと考えています。

吉永美子委員 とにかくどうするかを早く、当然、今日中にでも決めないといけないんですけども、私もやるにこしたことはないと思うんですよ。それについてはどのようにしたらいいか、健康増進課に開催の仕方とかをアドバイスしていただけるとありがたいなと思うんですけど、事務局いかがですか。

矢田松夫委員長 今ですか。松尾委員、さっきの実施方向について、もう1回言ってもらえますか。何か中途半端に聞こえたから、どうするか。

松尾数則委員 先ほど事務局から話がありましたように、お茶を飲みながらというのは絶対できないと思いますので、これはやめたほうがいいと思います。いろんな会議は、定数の半分ぐらいで認められていると思うんで

す。ある程度広いところでやればいいと思いますが、吉永委員が言われように定員30名で31名来たときに、「あなた帰りなさいよ」とかはちょっと言いづらい状況です。やるにしても、やっぱり定員を絞らんといけないでしょう。

矢田松夫委員長 これまでどおりの映像じゃなくて、大きい場所を確保できれば、そういうところで報告会をやったらいんじゃないかという御意見です。

岡山明副委員長 私は、今回は時期尚早と思っています。今回8波の拡大も実際問題としてある。この年末年始、インフルエンザとの同時流行もあるという状況でこれもやると、モニターとの意見交換会も一括でやるのかという話も出てくると思うんです。モニターとの意見交換会も一括でやるというのは、私はちょっと疑問を感じています。今の状況であれば、前回と同じような分割型の意見交換会になると私は思っているので、議会報告会を一括して、集まればやりますというのは、もう少し待っていただきたいと個人的に思っています。前回の映像じゃないけど、インターネットの動画配信で進めていただきたいと希望しています。

矢田松夫委員長 ほかにないですか。映像でやるのか。あるいは大きな会場を確保して何箇所かに分けてやるか。ただ、人数制限というのがあります。場所によって違いますから、制限をしないといけないところも出てくるでしょう。どうしましょうか。私は岡山副委員長と事前に話したわけではないんですが、年末年始をどういうふうに乗るのかという様子を見るため、もう1回映像でやるべきじゃないかなと思います。もう1回、様子を見るべきじゃないかと私は思います。もうそちらに慣れてしまったというか、本当はいけんのよね。僕たちの仕事、任務は、対面で市民の声を聞くというのが筋ですから、本当は議会報告会、議会カフェをやらなくてはいけんです。でも、こういう状況ですから、映像による議会報告会に変えざるを得ないんじゃないかなと思うわけです。もう少し皆

さん方の御意見を頂きたい。

中島好人委員　今までは、動画で発信するということがスッと流れてきたんですけども、ここに来てどっちかなと悩むときを迎えたと思うんです。何が何でも会場を借りてとは思わないわけですけども、本当にどっちでもいいかなあという感じで、どっちにするか微妙なところになってきたという感じでしょうね。今まではすぐ動画で配信という形だったんですけども、もうちょっと考えなくてはいけないかなあと思っています。今のは私の心境です。

長谷川知司委員　土曜日に市民館でヒューマンフェスタがあって、200人近い人が入っていたんです。それから見れば、やってもいいかなと思ったんですが、もしここで、委員長を含め皆が迷うというのであれば、安全な方法を取ったほうがいいと思います。

中島好人委員　先ほど発言の中で、委員長が今の状況で安全を取ってということがあったんで、委員長がそういう意向ならば、その意向に沿って進めてもいいかなと思います。

矢田松夫委員長　そういうことで、12月議会報告については、映像配信をするということに決定したいと思います。決まったことについては、12月議会定例会の最終日に皆さん方にお知らせすると同時に、今後の日程については周知し、協力をお願いするということにしていきたいと思っております。

島津議会事務局次長　議会報告動画を作られるということなんですが、大体いつぐらいを締切りにして、いつぐらいの公開を目指すかということと、動画は前回と同じような形でいいのか、前回と同じような形であれば、前は夏服でしたので写真とか、議場の動画とかをもう一度撮り直すのか、その辺を決めていただけたらと思います。

矢田松夫委員長 　いつ頃まで集約し、公開していくのか。それから、写真と動画を撮り直すのか。これはカメラを回すだけですから、簡単に済むんですか。（「はい」と呼ぶ者あり）冬用の映像に変えていくと。時期的なものは、年も明けますので、1月の中旬でいいですか。1月の中旬から下旬の間に公開すると。僕は簡単に考えたけど、どうですか。

中島好人委員 　去年の12月議会から動画配信をしたので、去年の12月議会を参考に見たらどうでしょうか。

島津議会事務局次長 　動画は、3月議会からとなります。間にお正月もあります。前回と同じような形でしたら1月15日が日曜日になりますので、13日とすると、ちょっと難しいかなと思います。13日金曜日までに各常任委員会で協議会をしていただいて、パワーポイントの動画を作ってください、その翌週の16日から20日までの間に広聴特別委員会の協議会等で確認していただいて、20日ぐらいに公開というのが、前回と同じような形になるかなと思います。

矢田松夫委員長 　コロナで2年間ほど報告会はしていなかったんです。今年の3月から、それではいけないということで、映像による配信をした。今3回したと。日程は今みたいなおおよそでいいんですが、もう1回、日程の案を作ったのを皆さん方に示したほうがいいんですか。

島津議会事務局次長 　最終的には本会議最終日に委員長から各議員に報告していただければと思います。

矢田松夫委員長 　今みたいな案、その日にちでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）私のほうで作っています。事務局から流してもらいます。私のほうで日程を作って、20日までに皆さん方に流すので、20日に協力を仰ぐということでもいいですね。

吉永美子委員 いつものようにチラシを作成して、ポスターを20日に私たち委員が持って帰って、それぞれ施設にお願いするわけですが、チラシを作るのをどなたにするか、そのチラシをいつまでに作っていただいて、委員で確認して、12月20日にほかの議員に渡すかということを決めておいたらいいかと思うんです。

矢田松夫委員長 長谷川委員、チラシ作成をお願いします。ほかに議会報告動画について、決めることはありますか。

吉永美子委員 これは意見交換会で出た意見にはなるんですけど、若者の興味を引くユーチューブにということがあったので、今回、動画配信のやり方を工夫しながら、より皆さんに見てほしいということです。そういうのを意識して、少し形を変えるということを考えるのも大事かもしれません。若者の興味を引いてほしいという声があったので。

松尾数則委員 私どもの地域で理科大生にインスタグラムを作らせたんです。若者向けだからいいだろうと作らせた。ところが、訳の分からないとか変なマークがいっぱい入ったりとか、どの辺の若者を選択するのか、私たちに若者向けの内容のものが作れるわけではありませんし、若い人に意見を聞くような場があればいいと思います。

矢田松夫委員長 動画がどういうふうに若者に受けるかということなんですけど、それは若者に聞かないと分からないし、操作によってたまげる内容にするのは、議員の中にもデジタル化推進特別委員会の委員もいるから、そういう人の意見も聞くことができると思う。

岡山明副委員長 ちょっと確認するんですけど、今回、広報特別委員会でアンケート調査をやっていますよね。意見交換会の際にそういう話があり、広報特別委員会がアンケート調査を出しましたよね。今回のモニターの

意見の中にも18歳の若い人を対象とした企画とか、若者に対する意見が出ています。今回、アンケート調査をしているから、アンケート調査の中で若者に対する意見があれば、それを今回の動画に反映させるといったらおかしいんですけど、前回いろいろ問題があったアンケート調査だから、広報特別委員会から何か情報を頂けないかなと思います。

矢田松夫委員長 字句の問題と放映の技術的なものと二つあると思うんです。

引きつけるような映像にするとか、そんな意見はなかったと思います。

岡山明副委員長 アンケートの中に若者を引きつけるような企画がアンケートの回答の中に何か入っていればと思ったんです。アンケートの内容も分からんもんですから、その辺はどうかと思ったんです。使えるか使えないか分かりませんが、それがあんなら、使ったほうがいいかなと思ったんです。

矢田松夫委員長 それは探してもらわんと分からん。

古豊和恵委員 若者を引きつけるというのが、どういうものか漠然とし過ぎてよく分からないんですけど、ティックトックというんですか、そういうのでも、地方議員の方たちが皆でダンスを踊って、地域を知ってもらうとか、体を動かすとじっと静止画面を見せるのではなくて、ある程度動きがあったほうが、若い人たちの目にとまりやすいのかなあとありますが、皆さんで踊りを踊るといのはいかがでしょうか。

吉永美子委員 いろいろ考えていたんですけど、動きと言われて、例えば、総務文教常任委員会で理科大を担当として持っておられますけども、理科大に委員会の全員とは言いませんが、飛び出して行って、理科大生に山陽小野田市に期待することとか、インタビュー的なことをやっているところとか、動いている状況を見せるとか、ほんの二、三分でいいんですけど、そういった形はどうかと思ったところです。ほかの常任委員会

に負担を掛けるんじゃないくて、広聴特別委員会で何かしらをやる一つとして、インタビューをしているところとかを撮っていく、当然、了解を得て顔を出すわけですけど。

矢田松夫委員長 いろいろ意見が出たけど、議会報告会の動画については、広聴特別委員会で何をするかというのは、また別の機会で行います。ただし、その前にほかの議員の方にどういうふうに周知するのかということで、日程的な問題等を全部決めました。内容をどうするかというのは、また次に決めます。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、次のモニター意見について広聴特別委員会に関係のある事項については、お手元の資料のとおりです。それでは、さっき出ました若者の興味を引くユーチューブにしていくことは広聴特別委員会の関係です。どういうふうにしていくのかという意見をまとめていきたいと思いますので、御意見をお願いします。

古豊和恵委員 先ほども言いましたけど、制止画面は飽きが来るといふか、何らかの動きのある画面にしていくのは大事じゃないかなと思います。平面的なものではなく、立体的なもの、動きのあるものにしていただけたいなと思っています。

松尾数則委員 基本的に、例えば私どもがやっているパワーポイントで作った資料を動画に変えるという雰囲気では、なかなかこれに向けた内容にするというのは難しいかなという気がします。事務局、動画にするとか、そういうソフトはないんですか。

矢田松夫委員長 もう1回お願いします。

松尾数則委員 今はパワーポイントで作った内容を動画にして流しているんですね。それを動きがあるような動画にするようなソフトはあるんですか。議会報告会の動画は、これからもずっとやっていくんじゃないかと

いう気がするんです。それも踏まえて、そういうソフトがないのかなと思っています。

島津議会事務局次長 松尾委員がどのようなものをイメージされているのかよく分からないんですが、例えば、動きのある動画を取れば、動きはあります。動きのあるものを撮って動画として流すということは可能です。あとは、皆さんでどのようなものがあるのかというのを企画していただいて、撮っていくしかないのかなと思います。

矢田松夫委員長 若者の興味をどうしたら引けるのかという御意見をください。この中で出されたのが、議会だより、ユーチューブにしても若者は分かりにくいと書いてあって、18歳から選挙権があるので、その世代にアプローチしていくことが必要ではないかと言われています。それから、市民にとってとっつきやすい人たちが議会を解説するとか、議員をフィーチャーしたようなものを作ったらどうなのかとか、委員会のユーチューブは長いので、休憩時間、余白をカットしたり、テロップを付けたりして、要点など、最初と最後に、話合いでこういうふうにしたなどとなれば分かりやすいのではないかとということと、18歳の若い人を対象とした企画、モニターからはこの二つの意見を頂いております。モニターからの意見については、説明をした内容です。9月29日のモニターの意見です。

中島好人委員 僕らが何ぼ知恵を絞っても出てこんわけですから、そういう意味では、その世代の人から話を聞くのが一番手っ取り早いんじゃないかと思っています。委員会というのは、その当事者みたいな方から意見を聞くこともできるんで、それが一番いいかなあとと思います。この意見が出る前にふと僕は思ったんですけども、つい僕らは短くしようと思って、専門語で短くしたりとか、余り長くなるとはいけないからということで、かなり短くという話があったんですけども、短くなると難しくなったりします。そもそもはというふうにかみ砕いた説明も必要かなと思います

けども、そうなるとう長くなる感じもしているんです。それは事前に思ったんだけど、その後、議長から若い世代当事者から聞いたらとあり、それが一番手っ取り早いかなと思いました。

古豊和恵委員 若い方たちの意見を聞くというのは非常に大事なことだと思います。ただ、学生は今から長期休みに入るのではないかなと思っております。だから、もし若い人たちの意見を聞くのが重要である、聞くという方向で話がまとまれば、早くしないと聞く時間もなくなります。学生に意見を聞くということですが、学生でも資料を見て意見をきちっと述べていただけるような方がいるのかどうか、その辺りも検討していかないといけないのかなと思っています。決めるのであれば早く決めて、早く行動を移さないと難しいのかなと思っていますがいかがでしょうか。

中島好人委員 早急に12月うんぬんという話じゃないと思います。これからのことを考えていくと、そんなに急いでどうこうというのではなくて、じっくりと今後、若い人たちにどんどん入ってってもらわなくてはいけないんで、そんなに急いでやるんじゃないかともいいんじゃないかとも思います。この12月議会うんぬんじゃなくても、3月の新しい体制でもいいし、そういう方向で広聴特別委員会としては、検討を始めたというか、そのほうが大事じゃないかなと思っています。

岡山明副委員長 議会報告をユーチューブで3回流しているんですけど、聞いている人から意見とか何かが事務局に届いていますか。意見は、3回ともなかったですか。

矢田松夫委員長 アンケートはなかったということですが、市民からの意見があったかどうか、お願いします。

島津議会事務局次長 特に事務局に連絡いただくようなことはありませんでした。

矢田松夫委員長 なかったということですね。ほかにはないですか。一番上の若者と18歳の分と、一番下の市民の中にもっと現場の実態を知る取組をすべきだというのは関連性がありますので、そういった取組をしていくということでもいいですか。具体的に何をするかというのは、今後、更に詰めていくと。一番下も関連がありますので、いいですか。皆さん方の意見を頂きましたので。次に市議会もユニバーサルデザインの考えを持つべきだと。横文字ではありますが、要するに形態というか格好というか、独自のものを持っていくんじゃないかと私は理解したんですが、島津次長、ユニバーサルデザインというのは、僕が言ったこととちょっと違うんかね。僕はそういうふうにとったんだけど違うかね。（発言する者あり）いや、広聴特別委員会になっているから。（発言する者あり）だけど、振り分けたら広聴特別委員会になったから。

島津議会事務局次長 ユニバーサルデザインというのは、文化、言語、国籍、年齢、性別、能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人ができることを目指したものということになります。広聴特別委員会で行いましたら、動画等に字幕を入れていることがユニバーサルデザインの一つということになるかなと思います。

岡山明副委員長 ユニバーサルデザインというのは広聴特別委員会で何とかというよりも市全体として取り組む問題であって、広聴特別委員会というよりは、議運じゃないかと思うんです。広聴特別委員会の議題ではないんじゃないかと思ったんです。

古豊和恵委員 これはデザインではなくて考え方だから、いろんなものを作る上でこの考え方を中心にやっていったらいいんじゃないかという意見ですので、広聴特別委員会にも関わりがあると思います。こういう考え方を持って、物事を進めていくのは大事かなと思っています。字幕でもそうですけど、耳が聞こえない方、目が見えない方たちのために作ってい

くということです。

岡山明副委員長 言語、国籍、年齢、性別、能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指して建物、製品、情報、そういう形を進めるということになっています。議会もこのユニバーサルデザインの考え方を持つべきではないかという意見です。議会という表現ですから、広聴特別委員会での評価ではなくて、議会としての考え方はどうなんですかということですから、広聴特別委員会で答えを出す問題ではないと個人的に思うんです。

古豊和恵委員 別に広聴特別委員会がというのではなくて、動画を作るに当たり、そういう意識を持って作りましょうという意味です。もちろん議会は議会で大事でしょう、市は市で大事ですけど、今、我々は動画を作るに当たり、そういう思いを持って作ればいいかなと思います。

中島好人委員 ユニバーサルというのは、生まれ変わるというふうになっているんです。だから、常に新鮮な気持ちで接すること。デザインというと、多くの人が利用できると書かれているので、建築、製品、情報などの設計のことであれ、できるだけ多くの人が利用できることを目指しているとか、その辺の発想が大事だということなんで、そういう観点で取り組む必要が大事じゃないかという指摘だと思います。

矢田松夫委員長 指摘を受けてやっていくという内容については、古豊委員が先ほど言われた広聴特別委員会に関係があるんじゃないかと。例えば、動画配信するときに、文字を大きくするとか、テロップを流すとか、そういうことも広聴特別委員会として必要ではないかというまとめを古豊委員が言われました。広聴特別委員会もユニバーサルデザインについても取り組んでいくということですね。

高松秀樹議長 古豊委員や中島委員の言われるとおりで、広聴特別委員会で動

画とか、議会カフェについてユニバーサルデザイン化をしていこうというのを否定するものではないんですが、山陽小野田市議会は、ユニバーサルデザインについてのトータル概念をまだ持っていないんです。ということは、市議会はユニバーサルデザインについて、どういう方向性でいくのかというのを議運か何かで決めていただいて、それに従って広聴特別委員会や広報特別委員会でやっていったほうが、順序的にはスマートなのかなという気がします。結論的には、こういう提案があったから、議運でこれについて協議してくださいとあって、また下りてきてというほうがいいんじゃないですか。

吉永美子委員 私が言いたかったところと重なっています。なぜ議運が担当を広聴特別委員会と決められたのか。どういうやり取りをして広聴特別委員会だよねとされたのか。そこを委員長は御存じなんだろうかと思ったんです。広聴特別委員会だったら一部のところを担うように捉えたので、議長が言われるように、まず入り口のところは議運なのかなと思います。どこかといったら議運なのかなと思っています。どういういきさつで広聴特別委員会になったのか聞いておられますか。（発言する者あり）勘違いしていました。議会もユニバーサルデザインの考え方を持つべきという1点だけ見ると、広聴特別委員会は一部になるなと思ったので発言したんですが、広聴特別委員会が担当を決めたということですから、申し訳ありません。今の発言は取り下げさせていただきます。

矢田松夫委員長 今日皆さん方は、モニターとの意見交換会の議事録をお持ちではないと思いますので、ユニバーサルデザインについて読みます。議会もユニバーサルデザイン化を進めてほしい。字幕を付ける、文字を大きくするなど、障害がある方が参加しやすい環境が欲しいというモニターの意見を頂いております。それについてもっと肉づけするために、振り分けた広聴特別委員会の意見を頂くわけです。もう少し大きく捉えるならば、これについては、議会全体で取り上げるべきだという議長の意見もありました。私たちがするのはさっき言った内容でいいですね。こ

れについては、もっと大きな問題があるんじゃないかということですから、議運にも投げ掛けていくということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）そういうことにしていきたいと思います。さらに一番下の中には、広聴特別委員会の一番の基本であります、もっともっと市民の中に入って意見を聞けということでもあります。そのような取組をしていくということの枝葉の問題としては、一番上の若者の興味を引くユーチューブとか、18歳未満の人を対象にしたものを作っていけ、企画をせえということにつながってくると思います。この項については、それで終わっていききたいと思います。

吉永美子委員 記憶が間違っていなければ、そのときに今はコロナで市民懇談会ができない状態にはありますがという話をしたように思うんですよ。市民懇談会を議会が開催できるように変更しているわけですから、是非これから市民懇談会を活発的にやっていくという考え方は入れていいんじゃないかと思います。

島津議会事務局次長 厚陽地域交流センターのテレビの改善についても広聴特別委員会なんですけど、これについては、議会が管理するテレビです。事務局で現地を確認して、先日、取り替えました。今はきちんと映るようになっております。以上のことを含めまして、回答についてはまとめて、皆さんに見ていただいて、それでいいかどうか、御了解いただくという形でよろしいでしょうか。

矢田松夫委員長 そういうことでお願いしたいと思います。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかにないですか。

島津議会事務局次長 モニター意見の回答の中で、議会運営委員会から、「現在の実態を広聴特別委員会で調査してもらい」とか、それから「内容を広聴特別委員会で調査してもらい」とかいうことがあるんですが、これは、例えば、「現在の実態を今後調査し、その後の運用について考えま

す」というような回答にするということでもよろしいのでしょうか。

吉永美子委員 事務局にお聞きします。一般質問の資料は、現在、地域交流センターでは配布されている、されていないというのが分かっているならばお知らせください。

島津議会事務局次長 地域交流センターでは配布しておりません。本会議が始まる前に各地域交流センターには本会議の日程、それから皆さんの一般質問の質問項目を送付しておりまして、それをテレビのところに見出しとして貼り付けていただいています。何日の何時から本会議があるとか、一般質問であれば、3項目か4項目程度ありますが、こういった質問をするというのは張り出してあります。前日とかに頂く皆さんからの資料は、ホームページには掲載しておりますけど、各地域交流センターには配ってはおおりません。

吉永美子委員 前日に出るわけですから、時間的にすごく大変だと思うんですけど、地域交流センターに配布すること自体は可能ですか、不可能ですか。事務局が持っていくのは、時間的に難しいんじゃないですか。

島津議会事務局次長 本会議の資料は、会議が開催される時間にホームページ上にもアップしております。議場については、朝から置いてはおります。それから考えると、公開するのが会議の開始時間なので、持っていくことが可能か不可能かと言われると、ちょっと当日は難しいかなと思います。皆さんの資料が出そろるのは、前日の夕方とかになりますけども、それから持っていくのもかなり難しいと思います。

長谷川知司委員 言われるように物理的には大変困難だと思います。ただ、希望されたら地域交流センターでプリントアウトできるかどうか。もし必要であれば一部だけ出して、後で皆さんで見てくださいよと。希望があったときは、そういうふうにされたらどうかと思います。希望者全員に

配るといというのは大変でしょうから、そういうことが可能かどうか。

島津議会事務局次長 それは事務局で一概に可能かどうかとは言えないんですけど、テレビのところには張り出すものに、地域交流センターの職員に言ってもらえばといったようなことを書いておくとかいうことであれば、原課との調整次第です。相手側の意向を聞いてみないことには分かりません。もちろん議会事務局に言ってもらったら、その方にファクスなりで送ることは可能かとも思います。その辺も原課との調整次第で、例えば来てもらって、言ってもらったら、議会事務局から地域交流センターにFAXするとか、その辺は調整次第だろうと思います。

矢田松夫委員長 ほかにないですか。（「はい」と呼ぶ者あり）まとめたものを皆さん方にお渡しするというので、2については終わりたと思います。休憩したいと思いますので、2時40分まで休憩します。

午後2時30分 休憩

午後2時40分 再開

矢田松夫委員長 それでは休憩を解き、広聴特別委員会を再開します。付議事項の3のモニターとの意見交換について、御意見を頂きます。

吉永美子委員 形としては、前回と同じように分かれたほうがいいと思います。

15人と私たちが7人で22人がメンバーなので、それを考えますと分かれるべきかと思います。意見交換ですから、話をしていただくのが主ですので、分かれたほうがいいかなと思います。それと12月議会が終わって極力日にちを置く必要はないと思いますが、かといって年末年始がございまして、1月10日からの週で考えてはいかがかなと思います。

矢田松夫委員長 吉永委員から分散型で意見交換会を開催したらどうなのかという意見がありました。まず、意見交換会の方法について、皆さん方の御意見を頂きます。

古豊和恵委員 分散型にするのであれば、その理由をきちっとお知らせしないといけないかなと思います。最初の委嘱状交付式的时候には、皆さんに集まっていたわけですし、モニター意見交換会だけは、分散型にしましょうというのもどうなんだろうと思われる方もいらっしゃるかも分かりませんので、その辺りをきちっと説明できるようにしておかないといけないかなと思います。

矢田松夫委員長 それで、古豊委員はどちらがいいんですか。

古豊和恵委員 委嘱状交付式は、委嘱状を渡すだけで、対話はなかったもので、たくさんの方々が集まっても問題はなかったかなと思っています。意見交換会については、お互いがいろんな意見を出し合わない意見交換会にならないので、密にならないほうがよかったのかなと思います。モニター意見交換会は、分散型のほうがいいと思います。

矢田松夫委員長 分散型か、一堂対面型か、その理由も言ってください。

長谷川知司委員 吉永委員も言われましたように、委員とモニターを合わせて22名で、その倍以上が入る器であれば、一堂に会すことが望ましいと思います。どこかといえば、例えば市役所の大会議室と小会議と合わせたところ、あるいは山陽小野田市民館の2階、あるいは総合事務所の会議とかの広い会場で換気を十分注意してやれば、22名でもどうかなと思います。できるだけ一緒にしたほうが皆さんの意見が聞けていいと思います。

中島好人委員 先ほど、モニター意見の中身を深めてきたわけなんですけども、これは分散開催だから一人一人の意見を十分聞くことができたんです。大勢でやって、みんながそれぞれずっとしゃべったら相当の時間が掛かるし、一定の人が中心になったりもします。しっかり思いを聞くという観点から分散のほうが、ゆっくり話し合うことができるのではないかなと思います。分散型のほうがいいかなと思います。

長谷川知司委員 中島委員にお聞きするんですけど、今の意見であれば、コロナ終息後も分散型がいいということですか。

中島好人委員 今のところ、そのほうがいいかなと思っています。

松尾数則委員 考え方だと思うんですけど、まとめてやったほうが意見をいろいろ聞けるけど、中島委員が言われたように、前回やった内容を確認して、いろいろ議論した中では、一堂に会するというのは無理かなという気がするんです。私も少なくとも二つぐらいに分散してやったほうがいいかなという気がします。

矢田松夫委員長 三つに分けた前回よりは、今回は二つに分けたほうがいいと。2分の1分散型ですね。

古豊和恵委員 私はさっきの理由で分散型がいいかなと思いましたがけれども、たくさんの方が入るスペースがあって、コロナが終息した後のこととかを考えると、いずれは一緒にできるものであれば、一緒のほうがいいのかなと思っています。今はコロナがあるけれども、今後コロナが終息したときのことを考えれば、広い部屋できちっとマスクをして、そういうのをきちっと気を付ければ、全員でお互いの顔を見ながらやるのも悪くはないのかなと考えています。

矢田松夫委員長 今は緊急避難的というか、コロナ感染症拡大の影響によって

分散型にするわけで、本来なら皆さん方が一同集まって、対面式というのは決まっております。その手法、やり方が今は違うということですが、どうでしょうか。

松尾数則委員 以前の議会モニターは、一堂に会して意見交換をやられたんですか。それだけの人が会すると、会議の進行上、難しいかなという気がするんですけど、どうでしょうか。

島津議会事務局次長 前回までのモニターは、モニター意見の提出が文書による提出でした。今のモニターとの意見交換会とはちょっと意味合いが違ってくるのかなと思います。前回であれば、3か月ごとに文書による意見をまとめてやっております、1年1回皆さんが集まって意見交換をしたということです。

岡山副委員長 ちょっと確認しますが、前は任期が1年だったですね。1年後に全員そろった状態で意見交換をされているんですか。

島津議会事務局次長 1年任期のときは、委嘱状交付式が終わった後に意見交換会をやりまして、その次は、1年後の任期が終わるときに意見交換会を実施しております。今回は、意見交換会でモニター意見を聴取するとなっておりますので、今までの意見交換会とはちょっと違うのではないかと思います。

古豊和恵委員 ということは、皆さん初めての経験であり、モニターにとっても多分初めてだと思うので、今から3年間続けるのであれば、3年間の間に我々も勉強もできるし、モニターも勉強できて、いろんな意見が出やすくなると思うんです。全体でできるのであれば、そのほうがいいのかなと思います。

矢田松夫委員長 さっきとちょっと違って来たということですね。

古豊和恵委員 さっきはコロナであるから分散です。

矢田松夫委員長 取りあえず12月議会の意見交換会をどうするかということです。

古豊和恵委員 それはコロナ禍ですので仕方ないかなと思っています。

矢田松夫委員長 次のときどうするかというのは、対面方式でやるというのが基本なんです。それをどういうふうにするのか、分散型にするのか、2分の1にするかというのは、今がコロナの状況であるからそういう意見が出ただけであって、本来なら違うんですね。

長谷川知司委員 私は一堂にと言いましたけど、コロナということであれば、より安全な分散型で別に支障はないと思います。

矢田松夫委員長 9月議会のときは参加者が2人、次が3人、次が1人ですか。かえって議員のほうが多かったというかね。今回は、2回にしますか。2分の1分散型ですか。その理由もちゃんとつけんとね。

長谷川知司委員 前は皆さんに4回の機会の中で都合はどうですかと聞いて、結果3回になったと思います。次回お聞きするときは2回の中でどうでしょうかということはどうかなと思います。

吉永美子委員 2回といっても昼のほうが出やすい方と夜のほうが出やすい方がいるので、それはちょっと配慮してあげないといけないと思います。やはり選択肢は多くしてあげていただきたいと思います。

中島好人委員 前は4回を案内し、選択してもらい、その中から3回に縮小したわけですが、今回もそういう形で、状況見て2回にするとか、

まずは選択肢を広げて、それを見てからの判断かなと思います。やっぱり選択肢は多いほうがいいかなと思います。

松尾数則委員 モニターの方の出席が非常に少ない。情宣活動が足りなかったのか。その辺のところは、事務局は聞いていませんか。出席が少ないんだけど。

矢田松夫委員長 それはこの中で議論しないと、事務局の責任じゃないけど、分かっている範囲でお願いします。

島津議会事務局次長 モニターには2日間、計4回で出られる日をとということでお知らせしましたが、都合が合わなかった方がいらして、出席できなかったということです。

岡山明副委員長 日程は、まだ決まっていませんけど、今回も年末年始が絡むんですが、お知らせというか、例えば半月前とか、モニターの方に連絡はどれくらいのサイクルでやっていますか。

島津議会事務局次長 前回も、決まった直後に皆さんにはメール若しくは電話をしたり、お手紙等を出したりしておりますので、今日決まれば、日程をお知らせして、どこで出られますかというような問合せをする予定です。

岡山明副委員長 前は、モニターの方に何日前という感覚でしたか。それが分かれば、今回参考にしようと思ったんですけど。

島津議会事務局次長 前は、9月29日、30日に行いました。その前の委員会ですから、9月13日に日程は決定したと思います。それから御連絡して、皆さんの予定を確認したところです。

岡山明副委員長 前回の日程が決まって報告した日にちは何日ありましたか。

島津議会事務局次長 約半月前にお知らせしています。

岡山明副委員長 年末には、今からやっても間に合わんということですね。まだ日程は、決めていないわけだけど、今の感覚ですと半月掛かるという状況ですね。

島津議会事務局次長 前回は、それだけ前に決められてお知らせしたということだけです。返答については、皆さん電話連絡がつけば、今日なら今日中に頂くことも可能でしょうし、何日間か置いていただくということも可能だと思います。

長谷川知司委員 先ほど吉永委員が意見交換会をするのは、正月明けの第2週がいいんじゃないかと言われたと思うんです。1月10日から13日の間になるんで、20日以上は、間がありますよね。

矢田松夫委員長 その前に、まださっきの宿題があって、どのような開催方法にするかですが、もうこれでいいんですか。

長谷川知司委員 昼が2回、夜が2回ということでお聞きして、できればそれを二つにまとめられればいいなと思います。どうしても駄目な場合は、またそのときに考えないといけませんけど。

矢田松夫委員長 それでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは日程です。長谷川委員が言った1月10、11、12、13日ですが、どうですか。

吉永美子委員 事務局にお聞きします。10日から13日の間で何か大きなイベントじゃないですけど、何か分かっているのがあれば、それを避けた

いので、お知らせいただけますか。特になければいいです。

島津議会事務局次長　ちょっと事務局の関係で、今回プロポーザルとかがありますので11日は避けていただきたいというのがあります。10日、12日、13日は、特に何も入っておりません。

吉永美子委員　そうしたら1月12日と13日の14時と18時の4回で、出席をモニターの皆さんにお願いしたらどうでしょうか。

矢田松夫委員長　モニターとの意見交換会についてまとめてみますと、今回も分散型でやるということで、日程は、1月12日、13日の昼夜2回の計4回実施するということです。新型コロナウイルス感染症拡大によって、このような形ですということでもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではその他はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）事務局はないですか。（「はい」と呼ぶ者あり）なければ、定例会の最終日の日にポスター、チラシを作って議員の方にお問い合わせすると同時に、ユーチューブ動画配信の日程を確認するということを確認して、本日の広聴特別委員会を閉じさせていただきます。御苦労さんでした。

午後3時5分　散会

令和4年（2022年）12月12日

広聴特別委員長　矢　田　松　夫